

## 安全保障理事会議長声明

「イラク情勢」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2009年11月16日に開催された安全保障理事会第6219回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を発した。

安全保障理事会は、イラクの独立、主権、統一および領土保全に対する安保理の公約を再確認し、イラク国民、当該地域および国際社会にとってイラクの安定および安全の重要性を強調する。

安全保障理事会は、SRSGのアド・メルケルトおよび民主的な制度を強化し、包括的政治対話および国民和解を推進し、地域的対話を促進し、攻撃を受けやすい集団を援助し、ジェンダーの平等を強化し、人権独立高等委員会の作業を通じてを含む人権の保護を促進し、司法および立法改革を促進するイラク国民および政府に助言し、支援しまた援助することで、国際連合イラク支援ミッション（UNAMI）に対する安保理の完全な支援を再確認する。

安全保障理事会は、イラク難民および国内避難民の自発的、安全な、威厳あるかつ持続的な帰還のために資する条件を作り出す助けとなるイラク政府と調整したUNAMIの継続的活動を奨励し、また、全ての関係者によるこの問題への更なる配慮を歓迎する。

安全保障理事会は、対話を促進し、緊張を緩和し、国内で争われている国の境界の公正かつ公平な解決を引き出すイラク国民と政府を支援するUNAMIの重要な役割を強調し、全ての関連する当事者に対し、この目的のために包括的な対話に参加することを求める。

安全保障理事会は、イラク憲法裁判所が要求したように2010年1月に議会選挙を行うことを容認するイラク選挙法の改正についてイラク議会において11月8日に到達した合意を歓迎する。安全保障理事会は、選挙実施のための過程の進展におけるイラク政府および独立選挙管理委員会を支援するUNAMIの努力を強調する。安全保障理事会は、2010年1月に計画されたイラクの国民議会選挙に向けた準備においてイラク国民と政府に対するUNAMIの継続的な援助を強く支持する。安全保障理事会は、選挙運動期間中に本当の政治的手腕をあらわに示し、国民的統合の精神で参加することをイラクにおける全ての政治的連合およびその指導者に求めた事務総長の呼びかけを支持する。

安全保障理事会は、イラク政府の諸機関を含み、多くの死者、傷者および損害を生じさせたバグダッドで2009年8月19日と10月25日に起きた一連のテロリストの攻撃に対する強い言い方での安保理の非難を強調する。安全保障理事会は、犠牲者の家族に対する安保理の深い弔慰をくり返し表明し、イラクの人民および政府に対する安保理の支援およびイラクの安全に対する安保理の公約を再確認する。安全保障理事会は、国際法とりわけ国際的な人権、難民および人道法の下での全ての義務を完全に遵守してテロリズムと戦うために講じられる措置を確保する、国際連合憲章に従った、あらゆる手段によるテロリストの行為を原因とする国際の平和および安全に対する脅威と戦う必要性を再確認する。

安全保障理事会は、イラクの安全および主権に関する予備的協議のためのイラクへの国連官僚の最近の訪問を歓迎する。安保理は、これに関連して、国連テロ対策委員会事務局（CTED）を通じての技術的支援を促進する可能性を含む、事務総長の努力を奨励する。